

---

# 浪を眺めし白き虎

紅猫

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

浪を眺めし白き虎

### 【Nコード】

N3345Y

### 【作者名】

紅猫

### 【あらすじ】

白き虎と小さな白波の、約束の物語

プロローグ(前書き)

## プロローグ

「たすけて…」

深い闇に閉ざされた、水牢のような場所でその声は、空しく響いた

小さな白い虎柄の仔猫

その仔猫が、この場所の主だった

声は暗い闇の向こうに消え、返事が返って来る事は無かった

だが仔猫は、口からこぼれる声を、届くことの無い声を、

止める事は出来なかった

止めれば自分が消えてしまう、仔猫はそう思った

「おねがいだから、きみだけは、ぼくとのやくそくをわすれないで…」

主にそぐわない大きさの水牢は、容赦なくその言葉を飲み込んだ

これは、仔猫の言葉が小さな波に届くまでのお話

## プロローグ（後書き）

えっと、作者の紅猫です

リアル中二で中二病ですwwww

駄文ですが読んで下さって光栄です

かなり遅筆ですが、これからこの物語を書き進めて行きたいと思っ  
てます

次から後書きの感じが、ガラッと変わります

というか、私の口調も変わると思います

取りあえず、次から本編です

たぶん、ぐだぐだになります

嫌でなければ次からも読んでください m( ) m

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3345y/>

---

浪を眺めし白き虎

2011年11月13日21時35分発行